

令和7年第1回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「新浜レオンさんの『しろいふるさと大使』就任について」申し上げます。

昨年紅白に初出場した白井市出身の歌手である新浜レオンさんを白井市の魅力を全国に発信する「しろいふるさと大使」に委嘱いたしました。

しろいふるさと大使に就任した新浜レオンさんは、「大好きな魅力あふれる白井市を全力でPRし、恩返しをしていきたい」と抱負を述べられていました。

なお、しろいふるさと大使は、市の知名度向上やイメージアップのために、市の出身者など、ゆかりのある方を委嘱しており、新浜レオンさんを含めて、現在10組11名の方にお受けいただいております。

次に、先日開催された総合防災訓練について申し上げます。

白井市初の大規模な総合防災訓練を2月2日に白井総合公園で実施しました。

訓練には、関係機関38団体、一般参加者、市職員を含めて約800人の参加があり、白井市直下で震度6強の大地震を想定し、災害発生から復旧までの一連の状況に対応する訓練を行うことができました。

近年は、毎年のように日本各地で様々な自然災害が起きており、中でも突発的な集中豪雨など、予測の難しい災害が増えています。

首都直下型地震や南海トラフ地震の発生も危惧される中、白井市でもいつ大規模な災害に見舞われてもおかしくありません。

訓練当日はあいにく冷たい雨が降る中での実施となりましたが、このことがかえって、より実践的で緊張感のある訓練になったと感じています。

今後も、このような実働型の訓練を実施することで、地域や関係機関等と顔の見える関係を作り、訓練を通じて経験を積み重ねて、自助・共助・公助の連携による防災力の向上を図っていきたいと考えています。

最後に、市内の下水道管の状況について申し上げます。

埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損に起因すると思われる、大規模な道路陥没事故を受け、国土交通省から全国の自治体に対し、直径２メートル以上で大規模な処理場に接続する下水道管について、緊急点検の指示が出されましたが、市が管理する下水道管には、今回の調査対象となるような施設はございません。

白井市の公共下水道については、昭和４６年度から事業に着手しており、令和５年度末時点で標準耐用年数の５０年を経過した管路は約１７キロメートルとなっています。

今後、さらに老朽化が進む中、市では日頃からストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に施設の点検・調査や修繕・改築を実施しており、現時点で大きな問題となるような事象は確認されておりません。

今後も、安全・安心な下水道施設の保全に努めてまいります。

以上で諸般の報告を終わります。